

## 事業所名 ふたばデイサービスセンター

## 令和2年度第2回 運営推進会議開催報告書

参加者	議題
利用者 0名 利用者家族 1名 地域住民の代表者 2名 市職員 1名 地域包括支援センター 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型ふたばデイサービスの取り組み</li> <li>・事例紹介について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症防止の取り組み</li> <li>・その他意見交換</li> </ul> <p>＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での意見交換とする。</p>
会 議 録	
<p>1. 認知症対応型ふたばデイサービスの取り組み</p> <p>&lt;ご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅では行えない機能訓練やレクリエーションができており、得手不得手があると思いますが、楽しい時間を過ごすことができ感謝しています。</li> <li>・ご利用者の持てる力を引き出せるような取り組み内容になっていて感心しています。</li> <li>・利用者の皆様が元気に訓練やレクリエーションに取り組まれているのがわかります。今後もコロナ感染にご注意頂き進めてください。</li> <li>・コロナで制限がある中、たくさんの機能訓練やレクリエーションがあり、利用者さんの笑顔が何よりも物語っていると思います。</li> </ul> <p>&lt;ご質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふたば料理研究会を新たに取り組み始めたきっかけは何ですか。また、取り組みにより利用者や職員にどんな変化がありましたか。</li> </ul> <p>→姉妹施設のふたば庵で昼食を作っており、少人数の認知症対応型デイなら一緒に作れるのではないかと考えたことがきっかけです。</p> <p>取り組みを始めて、利用者さんが料理に積極的に参加してくださったり、利用者さん同士の交流が増えたように感じます。</p> <p>2. 事例紹介について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が使える家族でも認知症に対する対応が大変。職員さんのご苦勞をお察しします。言葉の出ない父も顔色を読んでいるようですので、笑顔でのコミュニケーションを引き続きお願い致します。</li> </ul>	

・言葉の壁を乗り越え、徐々にスタッフに対して心を開いていかれる様子がわかり、「介護の力」は素晴らしいなと思います。

・外国の方、病気の方等色々な方が紹介されています。

・国際化、高齢化問題が短かに感じられました。認知症というだけでもケアが大変なのに、言葉が通じないという二重の大変さが伝わってきました。職員の努力で症状が少しでも改善されて良かったと思います。

<ご質問>

・今まで日本語でのコミュニケーションが困難な受け入れ事例はあるか。また、他利用者と交流してもらうために工夫している点はあるか。

→今回が初めての事例です。交流については、ご本人が簡単な日本語の理解が可能のため、職員が間に入りながら運動やゲームなどを通して、他利用者との交流を促しています。

### 3. 新型コロナウイルス感染症への対策について

・「3密」を徹底していただきありがとうございます。私生活でも気を遣い大変だと思いますが、心の栄養不足にならないようご注意ください。

・しっかりとした対策が取れていると思います。

・感染防止対策が徹底していると感じました。引き続き、感染拡大防止にご協力をお願いします。

・感染症防止の取り組みは問題なく思います。職員の皆さんは精神的、肉体的にも大変な時期と思いますが、引き続き感染対策を継続してください。

・高齢者施設の感染症防止は特に厳格にされていることがよくわかりました。職員皆さんのプレッシャーや努力には頭が下がる思いです。

<ご質問>

特になし

### 3. その他

・最近外での飲食時に気分が荒がることがあります。お店の方に迷惑もかかり、自分たち家族も気を遣います。お店や公共機関でのサポーターさんが必要だと思います。

・認知症対応型のデイとして、ケアマネや地域からの信頼は厚いと感じています。これからもよろしくお願いします。

・利用者の方、その家族の方も安心して利用できる施設運営をされているのがよくわかりました。

令和3年2月2日（火）作成

議事録作成者 服部ゆう子